

2025年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト 支援対象学生(欠員補充) 募集要項

2024年度から大学院博士後期課程及び一貫制博士課程の学生のための新たな支援プロジェクトが開始されました。

支援対象学生は、研究に対する意欲を有し続け、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う、個の尊厳とヒューマニティを損なわない倫理や良心を備えた高度専門人材となることが期待されています。また、同志社大学は、科学技術・イノベーション創出に対して、文理を融合する視点を重視し、ダイバーシティ、多文化共生や環境等の社会課題をテーマとする教育・研究活動を推進しています。支援対象学生に採用された皆さんには、これら社会課題と自身の研究の接点を考えることによって、キャリアパスの幅が広がることを期待しています。

支援対象学生は、研究者としての発展につながる**海外活動(インターンシップ、留学、研究交流、フィールドリサーチ)**を企画・立案することが求められており、実効性の高い計画に対して、渡航費等の支援が受けられます。更に、自らの研究を大きく発展させる**挑戦的・融合的**研究課題に挑もうとする優れた提案に対しては、研究費の増額を行います。

また、支援対象学生は、支援プロジェクトを通じて、博士課程修了後、アカデミアに限らない多様なキャリアパスで活躍することが期待されており、社会で広く活躍するためのスキル取得のために用意する各種プログラムに参加いただく必要があります。支援対象学生となった際に生じる義務及び各種プログラム等については、本募集要項に記載している内容のほか、本募集要項とともにWEBページに掲載している「同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(SPRING) To future members」にも詳細を記載しておりますので、通読・理解のうえご応募ください。**2025年4月に本学博士後期課程2年次及び3年次への進級予定の方、一貫制博士課程4年次及び5年次生となる予定の方が応募できます。**

募集期間

2024年12月9日(月)~2025年1月7日(火) 12時00分00秒(日本時間:正午)【締切厳守】

1. 目的

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(以下「本プロジェクト」という。)は、科学技術・イノベーションの将来を担う最先端の科学技術の創出能力のみならず、個の尊厳とヒューマニティを損なわない倫理や良心を備えた高度専門人材の育成を目的とします。

本学が理念として掲げる、高い学術研究力による深い学識と卓越した実践能力を用いて時代を切り拓き、異なる価値観・世界観を持つ他者や異文化を理解し、協働できる真の国際人の養成に向け、人文・社会・自然科学の相互理解力を涵養し、グローバルな視点で将来の社会課題を予測しながら解決する研究者の養成を目指します。

2. 内容

本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」(以下「本事業」という。)として実施される本プロジェクトを通じて、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む大学院博士課程学生に対し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができ環境(「6. 研究奨励費等」を参照)を整備するとともに、キャリアパスの確保に向けた各種プログラムを一体的に実施します。

3. 対象

本プロジェクトの支援対象者は、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて、社会課題への挑戦、新たな領域の開拓、世界を股にかける実践を目指そうとする、これからの時代を切り拓きたいと強く希望する博士後期課程学生とします。所属研究科や研究分野は問いません。また、本プロジェクトに採用された者(以下「支援対象学生」という。)には、研究力の向上に邁進するとともに、本学が提供するキャリアパスの確保に向けた各種プログラムを計画的に受講、実践し、自立的なキャリア形成に取り組むことを求めます。

4. 採用人数

2025年度2年次生、一貫制博士課程4年次生(2025年4月1日支給開始分):若干名
2025年度3年次生、一貫制博士課程5年次生(2025年4月1日支給開始分):若干名

5. 採用期間

標準修業年限^{*}、かつ2年次生は、2025年4月1日~2027年3月31日までの2年間、3年次生は、2025年4月1日~2026年3月31日までの1年間とします。

^{*}博士後期課程1年次~3年次又は一貫制博士課程3年次~5年次の3年間を指します。

本公募で採用された方は、標準修業年限からすでに在学した期間を差し引いた残りの期間が採用期間となります。長期履修制度を利用している場合であっても、標準修業年限を超える期間は支援対象となりません。

6. 研究奨励費等

支援対象学生には、採用期間中、研究奨励費:180万円(年額)と研究費:40万円(年額)を支給します。

※ 研究奨励費は、雑所得として課税対象となるため、各自で確定申告等の手続きが必要となります。

※ 研究奨励費は、上記の年額を月割計算した金額を支援期間の終了日の属する月まで毎月支給します。

※ 研究費は、本学において執行管理します。

※ 研究費は、本プロジェクトにおける公募研究や海外活動のために増額されることがあります。

7. 応募資格

以下の要件を満たす者とします。

(1) 2025年4月1日現在、大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者(外国人含む)。

[2年次生欠員補充にかかる応募要件]

① 区分制の博士課程後期第2年次相当(在学月数12ヶ月以上24ヶ月未満)に在学する者

② 一貫制の博士課程第4年次相当(在学月数36ヶ月以上48ヶ月未満)に在学する者

[3年次生欠員補充にかかる応募要件^{*}]

① 区分制の博士課程後期第3年次相当(在学月数24ヶ月)に在学する者

② 一貫制の博士課程第5年次相当(在学月数48ヶ月)に在学する者

^{*}SPRING支援対象生として、「8. 義務」にあげる事項を実施するために1年以上の期間を必要とするため、「5. 採用期間」が1年未満となる学生は応募できません。

(2) 本プロジェクトが提供する各種プログラムの受講・参加において支障のない英語能力があること。

※英語能力を証明する公式スコア(英検、TOEFL、IELTS、TOEIC等)の写しの提出を求めます。
英語能力を証明する書類がない場合は、至急受験し、「11. 申請手続き」の方法で提出してください。

※以下の者は、英語能力を証明する公的スコア(写し)の提出を免除します。

- 英語を母国語とする国出身の留学生
- 主要言語が英語圏の大学・大学院等の高等教育を卒業・修了した者
(該当するか分からない場合は、事前に「18. 公募に関する問い合わせ」の質問フォームより、ご確認ください。)

ただし、2025年4月1日以降に次のいずれかに該当する者は、支援対象学生となることができません。

- ① 独立行政法人日本学術振興会特別研究員
 - ② 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生
 - ③ 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
 - ④ 研究専念義務が生じるその他奨学金、奨励金受給者
 - ⑤ 所属機関から生活費相当額として年間 240 万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な収入を得ている者
 - ⑥ その他本事業の支援対象外となる者
- ※資格確認のために、収入に関する証明書類等の提出を求めています。

8. 義務

支援対象学生は、次に掲げるすべての事項を行わなければなりません。

- (1) 同志社大学研究倫理規準を遵守すること。
- (2) 同志社大学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程に定める責務を果たすこと。
- (3) 同志社大学公的研究費の運営・管理に関する規程に基づき研究奨励費等を適正に執行すること。
- (4) 本学及び科学技術振興機構が指定する研究倫理教育を履修すること。
- (5) 事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア開発支援プログラムに参加すること。
- (6) 高等研究教育院のアドバンス・リベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成支援科目のうち事業統括が指定する科目を履修すること。
- (7) 自身の研究を発展させる、もしくは研究者としての発展につながる海外活動を計画・立案し、指導教員の確認を得た上で提出すること。
- (8) 科学技術振興機構が本事業のために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
- (9) 科学技術振興機構及び本学が実施する各種調査に協力すること。
- (10) 学会等への参加、論文の投稿、口頭発表及び研究論文のセルフアーカイブを積極的に行うこと。
- (11) 活動報告書を事業統括に毎年度提出すること。
- (12) 文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の博士人材データベース(JGRAD)(以下「JGRAD」という。)に登録すること。

なお、(3)の研究奨励費等の適正な執行のために、自身の研究を大きく発展させるための研究計画と、そのための効果的な研究費の使用についての研究計画書を毎年度初めに作成し、提出することを求めます。また、(5)の「事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア開発支援プログラム」、(6)の「事業統括が指定する科目」は、別途提示する資料を参照してください。

支援対象学生は、本プロジェクトによる支援終了後も次のことをしなければなりません。

- (1) 本学及び科学技術振興機構が実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること。
- (2) JGRAD の情報を逐次更新すること。

9. 奨学金等との併給

次の給付制奨学金との併給を認めます。

- (1) 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
- (2) 同志社大学大学院奨学金
- (3) 同志社大学寄付奨学金
- (4) 同志社大学大学院脳科学研究科特別奨学金
- (5) 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
- (6) 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
- (7) 同志社大学私費外国人留生成績優秀者授業料減免奨学金
- (8) 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)奨学金
- (9) その他学費への充当を前提とする奨学金

10. 資格喪失

「7. 応募資格」に記載の要件を満たさなくなった場合の他、次の場合にも支援対象学生の資格を喪失します。

- (1) 支援期間中に休学する場合
- (2) 退学等により本学の学籍を失った場合
- (3) 同志社大学学生の懲戒に関する規程に基づき懲戒を受けた場合
- (4) 同志社大学研究活動上の不正行為への対応に関する規定に基づき、不正行為があったとの決定を受けた場合
- (5) SPRING 運営委員会が、本プロジェクトの義務等の履行状況を踏まえ、支援対象学生として不相当と判断した場合

11. 申請手続き

(1) 募集期間

2024年12月9日(月)～2025年1月7日(火)12時00分00秒(日本時間:正午)【**締切厳守**】

(2) 申請書類

○申請書(所定フォーム(Microsoft Forms)への入力)【「15.提出方法」の項を参照。】

○志望理由及び研究計画書(所定様式)※本文は10.5ポイント以上で記載すること。

記載事項:

- ・【志望理由】(本プロジェクトは、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援することを目的としています。自身が目指す研究者像を明確にし、それに向けて本プロジェクトをどの様に活かすのか、どの様に取り組むのか、といった視点から志望理由について簡潔に記入してください。)
- ・【海外活動計画】(本プロジェクトでは、研究者としての挑戦性、自立精神を醸成することを目的として、自らの研究課題を海外でどのように発展させるかという海外活動計画を提案していただきます。自身の研究が国際的な研究動向において、どの様な位置付けなのか、その上で自らの研究を発展させるために、どの様な国際的な活動を行っていくかについて具体的に記入してください。)
- ・【研究計画書】
 - ①これまでの研究状況、自身に取り組む研究の位置づけ、当該分野の状況や課題等の背景について記入してください。
 - ②研究計画における研究目的、研究方法、研究内容(支給される研究費をどの様に利用し、研究の発展を図るのか)について記入してください。
 - ③研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
 - ④社会課題を解決するアプローチについての構想:社会課題を解決する上で、自己の研究がど

の様に活かせるのかについて記入してください。

○英語能力を示す公的スコアの写し

- ・公式スコアがあれば古いものでもかまいません。
- ・7. 応募資格(2)において、英語能力を示す公的スコア提出の免除に該当する者は、「英語能力証明書の提出免除届」(指定様式)を記入の上、提出してください。
- ・申請締切までに、公式認定証の写しの提出ができない場合は、インターネットで開示されるスコア表示の画面キャプチャーの提出も可能とします。この場合は、公式認定証の入手後すみやかにメールにて写しを SPRING 運営事務局(「19. 連絡先」)に提出してください。2025年1月16日(木)9:00(日本時間)までに提出がない場合は、7. 応募資格(2)の要件を満たしていないものとみなします。

○指導教員からの推薦状(指定様式)

- ・本プロジェクトに採用されると、自らの研究活動に加え、研究者としてのキャリア開発にも取り組んでいただきます(「8. 義務」参照)。採用後の研究活動とキャリア開発の両立にあたり、あらかじめ指導教員からの推薦状(自筆サイン)をもらって提出してください。

12. 選考基準

- (1) 研究者としての素養を有し、明確なビジョンを有すること。
- (2) 研究計画、研究内容が具体的であり妥当性が高く、発展性があること。
- (3) 研究者として明確なキャリアパス計画(海外活動を含む)があること。

13. 選考方法等

書面審査及び面接審査により、支援対象学生を選考します。書面審査は、「志望理由及び研究計画書」に基づき実施します。面接審査は、書面審査を通過した者のみを対象とします。面接審査の詳細は、2025年2月18日(火)17:00までに、面接審査対象者にEメールにて連絡します。

【面接審査日程】

開催形態:今出川校地にて対面での開催

開催日程:2025年2月25日(火)9:00～17:00

面接時間:1人10分【プレゼンテーション3分(時間厳守)+質疑応答(7分)】

【面接審査詳細】

- ・面接審査は、研究者としての自己分析と、自身の今後の発展・向上計画について、本プロジェクトが重要としている3つの観点(研究遂行力、国際性の涵養、トランスファラブルスキルの獲得)から評価します。
- ・あらかじめ提出したプレゼンテーション資料(詳細は以下【プレゼンテーション資料】を参照)を用いて3分間のプレゼンテーション(時間厳守)を実施していただきます。発表の途中であっても、3分の時点で終了としますので、ご注意ください。続いて、審査委員より質疑応答があります。
- ・審査委員は、応募者の研究領域の専門家ではありませんので、専門外の研究者にもわかりやすいプレゼンテーションをお願いします。
- ・面接を欠席した場合は、面接審査の評点は加算されません。面接を欠席する場合には、面接審査対象者への通知メールにおいて指定した時刻までに、その旨 SPRING 運営事務局までご連絡ください。

【プレゼンテーション資料】

- ・プレゼンテーション資料の様式は、自由ですが、原則パワーポイントを使用し、本プロジェクトが重要としている①研究遂行力②国際性の涵養③トランスファラブルスキルの獲得の要素を含んだ

内容にしてください。

作成例：

(研究遂行力) 目指す研究者像、それに向けて行う研究の位置づけ
(国際性の涵養) 研究者として国際的に活躍するビジョンと海外活動計画
(トランスファラブルスキル) 研究力以外で必要と考える能力と伸ばすための計画

- ・ ファイルは、PDF ファイル(10MB まで)として、2025年2月21日(金)12:00(日本時間):正午までに、面接対象者への通知メールに記載した提出用フォームから提出して頂きます。いかなる理由があっても、差し替えは認めません。あらかじめよく確認の上、ご提出ください。
- ・ 面接審査対象の連絡からプレゼンテーション資料の提出まで、あまり時間がありませんので、事前に作成されることをお勧めします。
- ・ 期限までにプレゼンテーション資料が提出されない場合には、面接審査に付されませんので、ご注意ください。
- ・ プレゼンテーション資料の受領後、受領確認メールを送付します。プレゼンテーション資料の提出後、しばらく待っても受領確認メールが届かない場合は、「19. 連絡先」までご連絡ください。

14. 採用決定通知日

応募者には採否の結果を 2025年3月11日(火)までにメールでお知らせします。残念ながら不採用となった応募者には、全体の応募者のなかでのおおその順位をお知らせします。3月11日(火)までに連絡がない場合は、「19. 連絡先」にご連絡ください。

15. 提出方法

以下の所定フォーム(Microsoft Forms)から電子申請を行ってください。所定フォームへ必要事項を入力し、PDF ファイルに変換した「志望理由及び研究計画書」並びに「指導教員からの推薦状」及び「英語能力を示す公的スコアの写し」または「英語能力証明書の提出免除届」をアップロードの上、送信してください。なお、所定フォームへのアクセス時に、大学付与のメールアドレスでログインする必要があります。また、各ファイル容量は 10MB 以内とし、ファイル名はそれぞれ、「研究科名_応募者氏名.pdf」、「研究科名_応募者氏名_推薦状.pdf」、「研究科名_応募者氏名_英語能力.pdf」としてください。(例:神学研究科_同志社太郎.pdf/神学研究科_同志社太郎_推薦状.pdf)

申請書類提出はこちらから ⇒ <https://forms.office.com/r/X5z27BWyZe>



(QR コードからもアクセス可能です)

*同志社大学のユーザIDをお持ちでない場合には、「19. 連絡先」にその旨ご連絡ください。事務局より、手続き方法についてご案内致します。応募締め切りまでに、フォームの入力並びに書類を提出する必要がありますので、応募をお考えの方は、早めにご連絡ください。

16. 公募内容説明資料・申請書様式等

以下の URL からご確認ください。

https://kikou.doshisha.ac.jp/inside/wakate/sprig/spring_members.html

17. 公募説明会

日時:2024年12月12日(木)12:30~13:00@オンライン

- ・事業統括からのメッセージ
- ・プロジェクトの概要

- ・プログラム構成／年間スケジュール
- ・募集概要（新規採用／欠員補充）
- ・選考方法
- ・申請書類

参加希望の方は、下記フォームよりお申し込みください。申込締め切り後、当日の接続先リンクをお知らせします。

申込フォーム：<https://forms.office.com/r/XcXNFsmRir>
(締切:2024年12月10日(火)9:00、日本時間)



(QRコードからもアクセス可能です。)

後日、公募説明会の録画を配信しますので、都合が悪く参加できなかった場合は、録画をご視聴ください(録画配信予定:12月13日頃)。録画配信は、「[次世代研究者挑戦的研究プログラム\(公募・採用者\)](#)」のページに掲載します。

(https://rd.doshisha.ac.jp/rd/inside/wakate/sprig/spring_members.html)

説明会当日、質疑応答の時間を設けておりませんので、募集要項および公募説明会を確認してご不明な点がございましたら、次項の「公募に関する問い合わせ」よりお問い合わせください。

18. 公募に関する問い合わせ

応募者からの質問に対して、以下の質問フォームからのみ受け付けます。公募に関係のない質問には回答しません。また、SPRING 運営事務局への電話やメールによる問い合わせには回答いたしません。

質問フォーム：<https://forms.office.com/r/7ykBWjEEwP>
質問受付期間:~12月23日(月)12:00(日本時間:正午)まで

回答は、12月26日(木)までに、本学 [Webdisk\(共有ディスク\)](#) を通じて実施します。個別の連絡はしませんので、12月12日(木)以降、随時、Webdisk(共有ディスク)に格納された最新ファイルをご確認ください。

※Webdisk(共有ディスク)のURL:

<https://webdisk.doshisha.ac.jp/public/bKpKgM8NsEAJFWYWKRYIDf8I dpyLOIYwXOFFhI67Y8yI>

なお、お問い合わせいただいた質問および回答につきましては、公平性の観点から、原則公開させていただきますので、あらかじめご了承ください。

19. 連絡先

京田辺校地ローム記念館2階 同志社大学大学院博士後期課程 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト(SPRING) 運営事務局(研究開発推進機構研究企画課)

E-Mail:dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp

20. その他

・本プロジェクトの支援対象学生に採用された場合は、支援対象学生として氏名・研究分野・研究テーマ等を公表します。また、研究成果や活動状況の公表に積極的に協力していただくことが期待されています。

以上

～事業統括からのメッセージ～

本プロジェクトは、科学技術・イノベーションの将来を担う博士後期課程学生を支援するものです。現代社会が抱える問題はいずれも複合的なものであるため、一つの専門領域だけで解決することはできません。専門的な知見を備え、同時に社会の諸課題を俯瞰する力が求められています。本プロジェクトのもとで、課題解決のためのそうした能力を養ってください。

同志社の設立者・新島襄は次のような漢詩を書き記しています。

真理似寒梅敢侵風雪開

(真理は寒梅のごとし。あえて風雪を侵して開く。)

新島は、真理を社会や時代の趨勢に挑戦する力として語っています。そして、このような挑戦する精神を同志社は受け継いでいます。みなさんが次世代を担う、挑戦的な真理の探究者となられることを願っています。

同志社 150 周年、
その先の未来はあなたの双肩に。
真理の扉を開き、新たな道を拓け!



同志社大学大学院博士後期課程
次世代研究者挑戦的研究プロジェクト

事業統括
神学部／神学研究科教授
小原 克博

2024年度同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト 支援対象学生 選考日程

2024年12月9日(月)～ 2025年1月7日(火) 12時 00分00秒【締切厳守】

2025年1月17日(金)～ 2月13日(木)

2025年2月25日(火)

2025年3月11日(火)

募集期間

書類審査

面接審査

結果通知